



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院

広報委員会

・ ISO9001 認証取得

日本医療機能評価機構認定病院

血管内治療とチーム医療

脳神経外科医長 宮本 直子
画像診断部主任 高橋 康之
看護部 丸岡 和子

近年、脳血管領域では、カテーテルを使って血管の中から治療を行う血管内治療が急速に広まっており、その治療法や使用する道具（カテーテルやコイル、ステントなど）はどんどん進化しています。

<各職種役割>

医師…知識の習得と技術を磨き、患者それぞれに合ったより良い治療を行わないといけません。また、チーム医療のリーダーとしての役割も担います。

診療放射線技師…血管内治療の命である画像について、医師の求める画像をより良い画質で提供を行いつつ、従事者および患者の被ばく低減に努めなければなりません。

病棟看護師…血管内治療特有の周術期管理をします。安静を守れるように指導したり、苦痛を緩和したりします。合併症の早期発見に努めることも重要です。

手術室看護師…麻酔科の医師とともに手術中の患者の状態観察を行い、手術が安全、スムーズに進むように努めています。

救急外来看護師…特に近年普及している急性期脳梗塞に対する再開通療法に対して、迅速に対応しなければなりません。

薬剤師…血管内治療特有の使用薬剤の管理、服薬指導を通して副作用チェックが担当です。

生理検査技師…治療前後の検査だけでなく、例えば腎障害で造影剤を使用できない患者さんにエコーガイド下で頸動脈ステント留置を行う際にも協力します。

リハビリスタッフ…治療後の早期離床に重要な役割を担っています。

血管内治療を成功させるためには、それぞれのスタッフの専門性に加えて、患者の回復のために一丸となって取り組む、息の合ったチーム医療が不可欠です。



花名：柚子(ゆず)
花言葉：健康美
撮影者：松原信子様

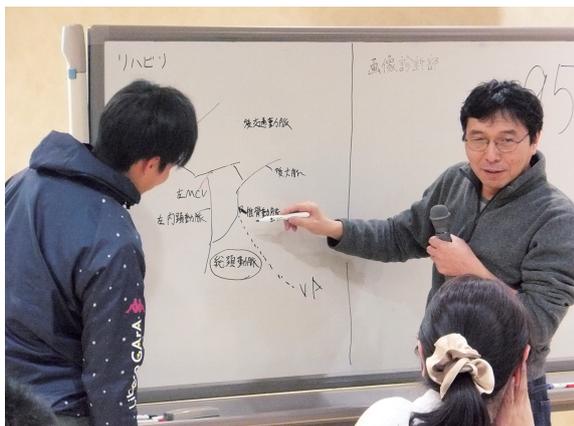
<勉強会の開催>

当院では、日本一のチームを目指して足並みを揃えるため、2012年からチーム勉強会を開催しています。最初は、完全口コミ性の有志の会でしたが、現在では参加メンバーも増え、今月の開催で30回を迎えます。

メンバーに制限はなく、多職種の勉強したいスタッフが集まります。内容は、血管内治療に関連することなら何でもありで、参加・体験型の会を心掛けています。

医師だけでなく、それぞれの職種からの講義のほか、コイルやステントなどカテーテル類に触ってみたり、頸動脈エコーを体験したり、ホワイトボードにみんなで脳血管の絵を書いたりします。参加スタッフは楽しんで勉強できているようです。

また、他部署の仕事内容や事情を知る事により、信頼や思いやりが増し、普段の診療においても連携がよりスムーズになりました。多職種合同のため、勤務時間、求める内容・レベルが異なるため、試行錯誤をしながらの勉強会ですが、学びたいスタッフが集まる限り継続したいと考えています。



<急性期血行再建について>

—救急外来看護師より—

急性期脳梗塞の患者に対する治療は、再開通療法(t-PA静注療法やカテーテルによる血栓回収療法)が進歩、普及しています。

この治療では、閉塞した血管が再開通するまでの時間がその後の状態に大きく影響します。早く治療を開始するために、担当する看護師は知識だけでなく早急な対応力も求められます。

いつ患者が来院しても迅速な対応ができるよう常に訓練し、一分でも早い再開通を目指して万全の準備をしています。早期の再開通のためには、早期発見、早期搬入も必要であり、ご家族、かかりつけの医療機関、救急隊もチームの一員と考えています。



回復期リハビリテーション病棟コラム

「お元気ですかコール」について

理学療法士 藤井 保徳

退院後調査「お元気ですかコール」

回復期病棟において、自宅復帰は重要な役割の一つです。当院では2006年に西棟回復期病棟、2017年には新館回復期病棟を開設し、入院患者が退院後も今までのように自宅で生活できるよう、多職種でADL向上、医療・介護の連携に取り組んできました。退院時にはご自宅での生活を想定し家屋調査・評価や退院前の家族指導などにも力を入れています。患者によって状況は違いますが、退院できて良かったと思う反面、慣れたご自宅での環境とはいえ、身体の変化などによって退院後も今までのような生活が再び続けられるのか、不安や心配事をもたれる方も多いためです。

そこでリハビリテーション部では、安心して退院していただけるよう入院中のリハビリの関わりが適切だったのかを検証し改善につなげる目的と、患者の退院後の不安や心配事を軽減し、在宅生活を何らかの形でサポートしたいとの思いから、2013年より退院後調査「お元気ですかコール」を始めました。

お元気ですかコールの内容

対象者は回復期病棟から自宅退院し、協

力を得られた患者です。調査方法は患者宅へ3ヵ月後に電話し、調査票の内容に沿ってADLやその他の状況をご本人あるいはご家族から直接うかがっています。

調査表の内容は患者自身が良くなっていると感じているかどうか、痛みの有無、外出状況や転倒の有無、介護サービスの利用状況、ADLの状況、自動車の運転状況、患者が退院するにあたり不安に思っていたことが解決されているか、楽しみにしていたことが実現できているかなどです。

入院中に関わっていた担当療法士が電話させて頂くことで様子も良くわかり喜んでいただいています。

調査結果の共有

退院後調査「お元気ですかコール」の結果を共有することにより、スタッフは患者の退院後の生活をよりイメージして関わるができるようになりました。入院中からその後の生活をイメージしてリハビリを行うことで、患者がスムーズに自宅での生活をしていただけるようこれからも業務に励んでいきたいと考えています。

今後も「お元気ですかコール」を発展・継続させ、より良い患者へのサポートを続けていきたいと思えます。

1月の食事会のお知らせ

『急な血糖上昇を防ぎましょう』～低GI食品を使用した献立を紹介します～

※低GI食品…血糖値を上げにくい食品

●日時：平成31年1月9日(水)

12:00～講演会

12:30～食事会

●場所：新館6階 講堂

・玄米七草粥 ・大海老入り豆腐の茶巾蒸し
・水菜ともやしのゆずポン和え ・しみしみ豚大根 ・フルーツ

熱量 408kcal 蛋白質 22.5g 食物繊維 5.6g 塩分 2.0g

参加ご希望の方は病院受付にお申し込みください。会費 500 円です。

担当 管理栄養士 高橋

受付時間

午前8:30~11:30まで / 午後1:30~4:00まで (土曜の受付は11:00まで)

※急患は24時間受付けております
※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診
※歯科口腔外科は第2・4土曜も診察しています

平成30年12月20日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
	時間帯						
内科	午前	高玉院長	高玉院長 小池(9:00~)	高玉院長・勝山	高玉院長 勝山・下田	高玉院長 勝山	高玉院長(10:30まで) 勝山
	午後		小池(14:00まで)				
神経内科	午前	岡本・菊池	岡本・甘利	岡本・甘利	岡本・酒井	岡本・池田	菊池
	午後	清水	清水	山内(15:30まで)	甘利(14:00まで) 漆田	池田(15:30まで)	
脳神経外科	午前	1診:内藤 2診:岩井	高玉 真	1診:内藤 2診:高玉 真	1診:内藤 2診:岩井	1診:宮本 2診:内藤	1診:高玉 真 2診:宮本
	午後		岩井(14:30まで)	岩井(14:30まで)			
整形外科	午前	佐藤(圭)・加藤	島田	佐藤(圭)・館野	佐藤(圭)(10:30まで) 加藤	館野・島田	佐藤(圭)(第1)、島田(第1,5) 館野(第3,5)、加藤(第3)
	午後	加藤		館野		島田	
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤・遠藤	高玉 篤
	午後		高玉 篤	高玉 篤(隔週)	高玉 篤		
歯科・口腔外科	午前	福士・戸谷	福士・戸谷	福士・戸谷	福士・戸谷・伊達	福士・戸谷	福士(第1,3,5) 戸谷(第2,4)
	午後	福士・戸谷	茂木・福士・戸谷		福士・戸谷・伊達	福士	
皮膚科	午前	渋沢	渋沢			渋沢	
	午後			渋沢			
糖尿病外来	午前		中村(保)				中村(保)
	午後					中村(保)	
泌尿器外来	午前	矢嶋		一ノ瀬		黒川	
	午後	矢嶋					
心療内科	午前		雪竹				
	午後		雪竹				
高血圧外来	午前	中村(哲)	中村(哲)				
麻酔科	午前	増田		増田(10:30まで)		佐藤(美)	
漢方外来(内科)	午前				古川		
循環器内科	午前		天野	天野	天野	天野	天野
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村
内視鏡	午前			山田(第2,4)	古川(胃・大腸)	乾(胃)	
禁煙外来	午前			勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	勝山(完全予約制)	
リハビリテーション科	午後				神宮		
物忘れ外来(神経内科)	午後			山口(完全予約制)			
睡眠時無呼吸外来	午後					前野(月2回) (完全予約制)	
腎臓リウマチ内科	午後		大石(第1,3)				

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311(代表) FAX 027-252-7575(代表)
E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス http://www.ronenbyo.or.jp/

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135